



ひまわりの家 園田だより

第8号 2022年11月

尼崎市東園田町9丁目24-9 ☎06-4977-7961

冬を迎える今想うこと

日が暮れるのが早くなりました。肌に触れる風も冷たく、秋の終わりのなんだか物寂しい今頃に思い出すのが白秋という言葉です。季節を人生に重ねてそれぞれに色があるという中国古来の考えです。春は青・夏は朱(赤)・秋が白で冬はすべての色が混じった黒・・・青春・朱夏・白秋・玄冬。漢字で見るとイメージが浮かびやすいかもしれません。

高齢期を人生の冬とするのなら、私たちは何を準備しておけばいいのでしょうか？

やっぱり大事なものは「人とのつながり」なのだと思います。老いていけば、1人ではできないことが増えていきます。心細く感じることも増えるかもしれません。そんな時「どうしている？」と気にかけてあえる身近な人の存在がきっとチカラになります。

だからこそ今からいろんな活動に参加して「楽しみ」「仲間」「役割・出番」の人とのつながり貯金をしていきませんか？



東園田町会の作品展に折り紙・クラフト作品を出展しました。

日頃、ひまわりの家 園田のみんなで作っているいろいろな折り紙作品。

しんどいことも多いからこそ、カラフルに虹をテーマにつくりました。

チョコレートの容器に入った作品は、「すごい！ちいさ〜い！おいしそう(笑)」と、お声をかけていただきました。

高校生や看護学生さんが来てくれています(*^-^*)

「よう来てくれたなあ〜」「若いからお肌ぴちぴちやな」、学校の様子を教えてもらったり、一緒に折り紙したり、多世代で過ごす時間はお互いにより刺激をもらえます。



また、遊びにきてください。

ひょうご認知症サポート店に登録

オレンジの『ろばとはばタン』のステッカーを見かけたことはありますか？

認知症サポーターがいて、認知症の人に優しい地域づくりに協力しますという、「ひょうご認知症サポート店」である目印です。「ひまわりの家園田」でも玄関扉に貼付しています。

「認知症サポーター」は、認知症について正しく理解し、認知症の人とその家族を暖かく見守る応援者です。

この園田でも認知症サポーターがたくさん増えたらいいですね。



※毎月の予定は、ホームページにも載せています。

※園田地区地域コミュニティー活動支援事業に採択されました。